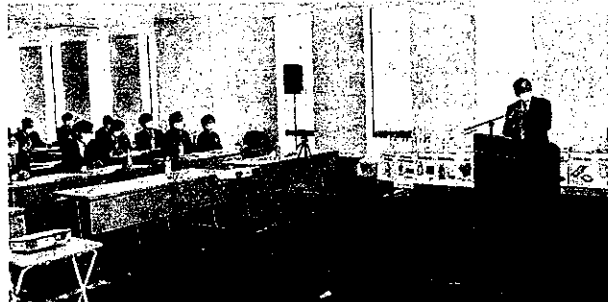


50人、感染対策学ぶ

大田原 市誘致企業が交流

負けない
新型コロナウイルス



講演する阿久津副院長(右)

【大田原】大田原商工会

議所など主催の第23回誘致
企業交流会「市誘致企業サ
ミット」が19日、中央1丁

目のトコトコ大田原で開か
れ、会議アプリ「Zoom
(ズーム)」での参加を含
め、約50人が出席した。

那須赤十字病院の阿久津
郁夫副院長は、新型コロナ
ウイルスの感染対策などに
ついて講演。重症度の分類
に関して約60%が軽症、30
%が中等症、9%が重症に
なることや、血中酸素の飽
和度で重症度をチェックで
きること、さらに各段階で
の治療方法などを説明し
た。

企業などの対策の一つと

して「感染症流行時は普通
のストレス反応とは違う反
応が出ている。毎日、現場
へ行って、ねぎらいの言葉
を掛けている」と、管理者

側からの現場へのサポート
の重要性を指摘した。
続いて、新型コロナウイルスの集
団感染が起きたクルーズ船
「ダイヤモンド・プリンセ

ス」で除菌活動に従事した
遺品整理・ごみ回収会社
「エツリン」(上右)の
江連秀夫社長が除菌講習会
を行った。手袋を2重にし
て作業することや一方方向
に拭くこと、手で触ることが
多い場所を拭くことなど除
菌作業のポイントを説明し
た。
(小林治郎)